

地域が育むキャリア教育推進事業

教育界と産業界の連携による児童生徒の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度の育成を図る。⇒ **基礎的・汎用的能力の育成**

キャリア教育とは、児童生徒一人一人が、自分が自分として生きるために、「学び続けたい」「働きたい」「人の役に立ちたい」と強く願い、**自らの力で生き方を選択し、実現させていく能力や態度を身に付ける教育**

⇒ **学びのインセンティブ**

基礎的・汎用的能力を構成する4つの力

1 人間関係形成・社会形成能力

⇒ 人と関わる力

2 自己理解・自己管理能力

⇒ 自ら考え・行動する力

3 課題対応能力

⇒ 課題を乗り越える力

4 キャリアプランニング能力

⇒ 自分らしい生き方を見つけていく力



中学校

- ・肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- ・興味・関心等に基づく勤労観・職業観の向上
- ・進路計画の立案と暫定的選択
- ・生き方や進路に関する現実的探索

職場体験活動の一層の充実による系統的なキャリア教育

小学校

- ・自己及び他者への積極的関心の形成
- ・身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上
- ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
- ・勤労を重んじ目標に向かい努力する態度の形成

発達の段階に応じた意図的な指導

キャリア教育推進協議会

- ・小学校代表、中学校代表
- ・経済団体 ・市長部局
- ・市教育委員会



各事業所の「あいらキャリアサポートバンク」への登録、「登録証」の配布と店頭や事務所等への掲示
〔登録数〕—175 事業所(農業1 建設業5 製造業5 情報通信業3 運輸業2 卸売・小売業34 飲食店・宿泊業10 医療・福祉49 教育・学習支援業22 サービス業32 公務6 他6) 【※ 令和3年6月現在】

・事業所への「市キャリア教育推進啓発資料」の配布
(身に付けさせたい力や態度)
(推奨体験内容、モデルプラン)